開講専攻	生物工学専攻	前橋工科大学　シラバス			
科目名	生物工学特別演習Ⅱ	標準対象年次	選択／必修	科目コード	
		2年次	必修	37003601	
担当教員	善野修平（分子生物学研究室）	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	通年		

授業の教育目的・目標	生物科学・工学分野の研究者・技術者個人として、世界に通用する能力、自覚を身に付けさせる。英語文献に慣れ、世界の先端の情報を調べ理解する能力を養う。多角的視点から問題の本質を見極め、自ら課題を発見する能力を養成する。プレゼンテーションや自由討論などを通して、調査内容及びそれに対する考察内容を適切に表現し、議論することができる能力を養成する。
学科の学習・教育目標との関係	生物工学の諸分野における21世紀の課題を解決する高度専門技術者の養成のため、最先端の専門知識、課題発見能力と解決へのアプローチの提案能力の獲得とプレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力の向上を目的として、必修科目として実施する。
キーワード	細胞、遺伝子、ゲノム、タンパク質、プロテオーム、酵素、RNA、RNA結合タンパク質、ビタミン、微生物、生物発光、生体リズム
授業の概要	本特別演習IIは、生物工学特別演習Iに引き続き、自分が行っている修士研究に関して、新規性やオリジナリティを確認しながら研究を行う能力を養うことで、第一線の研究者・技術者を育成できるように進める。
授業の計画	本特別演習IIのセミナーは、週一回のペースで通年で30回行なう。 履修学生は、修士研究の途中経過の結果についてまとめ、担当教官を含めた特別演習II参加者に説明し、参考意見をもらう。ここで得られた意見を真摯に受け止め、研究結果の妥当性について吟味し、問題があれば研究計画を修正するなどして、研究内容をより良いものに仕上げる。
受講条件・関連科目	特になし
授業方法	本特別演習IIの授業形態はセミナー形式で行う。履修学生が順番で、自分が行っている修士研究の途中経過を報告し、聴衆からの質疑応答に応じる。
テキスト・参考書	テキスト ・発表者が作成するプレゼンテーション資料 参考書 ・修士研究に関連する原著論文、総説論文
成績評価	研究進捗状況、研究に取り組む姿勢、報告内容、プレゼンテーション及び議論の状況などの評価によって行う。採点基準は、A:80点以上、B：79-70点、C：69-60点、D:59点以下とし、A、B、Cは合格、Dは不合格とする。
履修上の注意	特になし